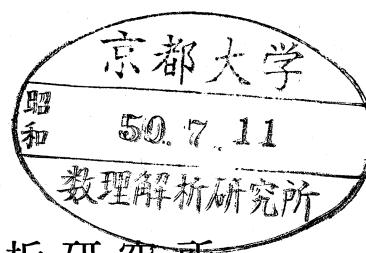


K-510

支 払 濟

数理解析研究所講究録 239

偏微分方程式の解の構造の研究



京都大学数理解析研究所

1975年5月

偏微分方程式の解の構造の研究会報告集

1975年1月20日～22日

目 次

1. 波動方程式に対する混合問題について 1

阪大理学部 井川 満

2. On the local surjectivity of analytic partial

differential operators in the space of distributions

with given wave front sets 19

京大数理研 西和田公正

3. 退化した放物型方程式の基本解の構成 31

東北大 理 島倉紀夫

4. On local solvability of partial differential equations

with multiple characteristics 50

京大 理 松本和一郎

5. On the propagation of support of solutions to general

systems of partial differential equations 68

京大数理研 松浦 重武

6. On Schwarz's Lemma for $\Delta u + c(x)u = 0$ 80

東大 理 増田 久弥

7. 楕円型方程式系の境界値問題に対するなめらかな
解が一意的に存在するための十分条件 86

京大数理研 岩崎 敦久

8. 二独立変数包含的偏微分方程式系の C^∞ 解の存在 95

立教大 理 垣江 邦夫

9. 双曲型方程式に対する混合問題の基本解の
Singular supports について 108

京産大 理 遠山 幹雄 ✓

10. ある種の擬偏微分作用素の parametrix の構成 124

北大 理 山本 和広 ✓